



## わくわく集会 ～放送委員会～

今日17日(木)のわくわく集会は放送委員会が発表しました。まず、放送委員会が取り組んでいる大きな仕事の二つを紹介してくれました。一つ目が朝、昼、掃除の放送をしていることです。みんなが聞き取りやすいように、ゆっくり・はっきり発音するよう心掛けています。二つ目は、OBS 放送局、リクエスト大会の準備など、いろいろなイベントを企画していることです。次に、クイズ形式で時間を守って欲しいことと、これから始める新しいイベントについて紹介してくれました。その中で「『何の音楽でしょう』クイズ」を出題してくれました。3問の音楽を流して、日頃慣れ親しんでいるはずの放送の音楽ですが、実際にいつ流れているのか考えると、なかなか難しいと感じました。1問目は、難易度★のクイズでした。これは給食終了の時間帯に流れる音楽で、正解の発表と共に「この曲を聴いたら、給食を終わらせて、給食室に持っていきましょう!」とアドバイスも送ってくれました。2問目は、難易度★★のクイズでした。これは、朝の時間帯の曲で、「この曲が終わるまでには、教室に戻って、自分の席に着けるといいですね。」とアドバイスを送ってくれました。3問目は、難易度★★★★★のクイズでした。これは木曜限定の曲で、「毎日放送を聴いている人は、わかったと思います。」という解説付きでした。クイズの最後に「これからは、耳だけで行動するのではなく、自分の目で時計を見て、自分から進んで行動するように心がけましょう!」と伝えてくれました。



最後に、今日から始まるイベントについて説明してくれました。それは「今日のレンジャーを探せ!」というイベントです。「今日のレンジャー」とは、みんなのために頑張ってくれた人や、みんなを支えてくれた人、感謝を伝えたい人、すごいことをしている人の名前をメッセージカードに書いて、放送室前のポストに入れると、放送委員が給食の時間に紹介してくれるというイベントだそうです。その「今日のレンジャー」を探す視点を寸劇でも紹介してくれました。「草とりを一人で頑張っている人を探して『🔴 レッドの心』できれいにしてくれている!」「廊下で転んでけがをした人を『🟢 グリーンの心』で助けてくれている」など、探す視点がはっきりとしてわかりやすかったです。

感想交流では、2年生の子供が「『🟢 帯西グリーン』の心を感じました。放送委員会の話を聞いて、みんながよく聞けたからです。」、4年生の子供は「『🟡 帯西イエロー』の心が伸びました。朝は放送を聴いて教室に戻っていたから、今度から音楽が鳴る前に戻ろうと思いました。」、6年生の子供は「『🟢 帯西グリーン』の心が伸びました。放送委員会の発表を聴いて、『今日のレンジャーを探せ!』をちゃんとやろうと思ったからです。」と感想を述べることができました。

最後に放送委員長の中村さんが「皆さんに放送委員会のことを知ってもらえてよかったです。放送は耳だけではなく、目で感じて行動するようにしましょう。そして、『今日のレンジャーを探せ!』へのご協力もお願いします。これからも楽しいイベントを計画していきますので、楽しみにしてください。」と答えていました。

放送委員は学校の中の大切な「音環境」を創ってくれます。発表からは、帯西イエローの「役割を自覚し、よりよい学級や学校をつくる」心が育っていることを感じました。